

環境経営レポート

“私たちは、CO₂排出ゼロを目指します”

2021年(76期)

期間:2020年12月～2021年11月

発行日:2022年1月28日



目次

1. 事業活動の概要
2. 対象範囲・対象期間及び組織
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境活動計画
6. 環境活動実績及び評価
7. 環境経営活動の取組み総括と次期の取組み
8. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果
9. 経営者による評価及び見直し

1. 事業活動の概要

1) 事業者名及び代表者名

旭光通信システム株式会社 代表取締役 社長 酒井 元晴

2) 所在地

- ・本社 〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本 3-2-3 ウェルビュ溝の口 4F
- ・八戸事業所 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35
設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40
- ・大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アースビル 7F
- ・北海道営業所 〒060-0005 北海道札幌市中央区北 5 条西 5-2-12 住友生命札幌ビル 8F

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 原 正行

連絡先 電話 0178-20-5540(代表) FAX 0178-20-5569

URL <http://www.kyokko-tsushin.co.jp> E-mail m.hara@kyokko-tsushin.co.jp

4) 創立年月及び資本金

設立:1946 年 6 月 資本金:2,520 万円

5) 事業内容

各種情報通信装置、機器のシステム開発・設計・製造並びに工事

6) 事業規模

項目	単位	2020 年	2021 年
		2019.12.1~2020.11.30	2020.12.1~2021.11.30
工場延べ床面積	m ²	2,430.46	2,430.46

2. 対象範囲・対象期間及び組織

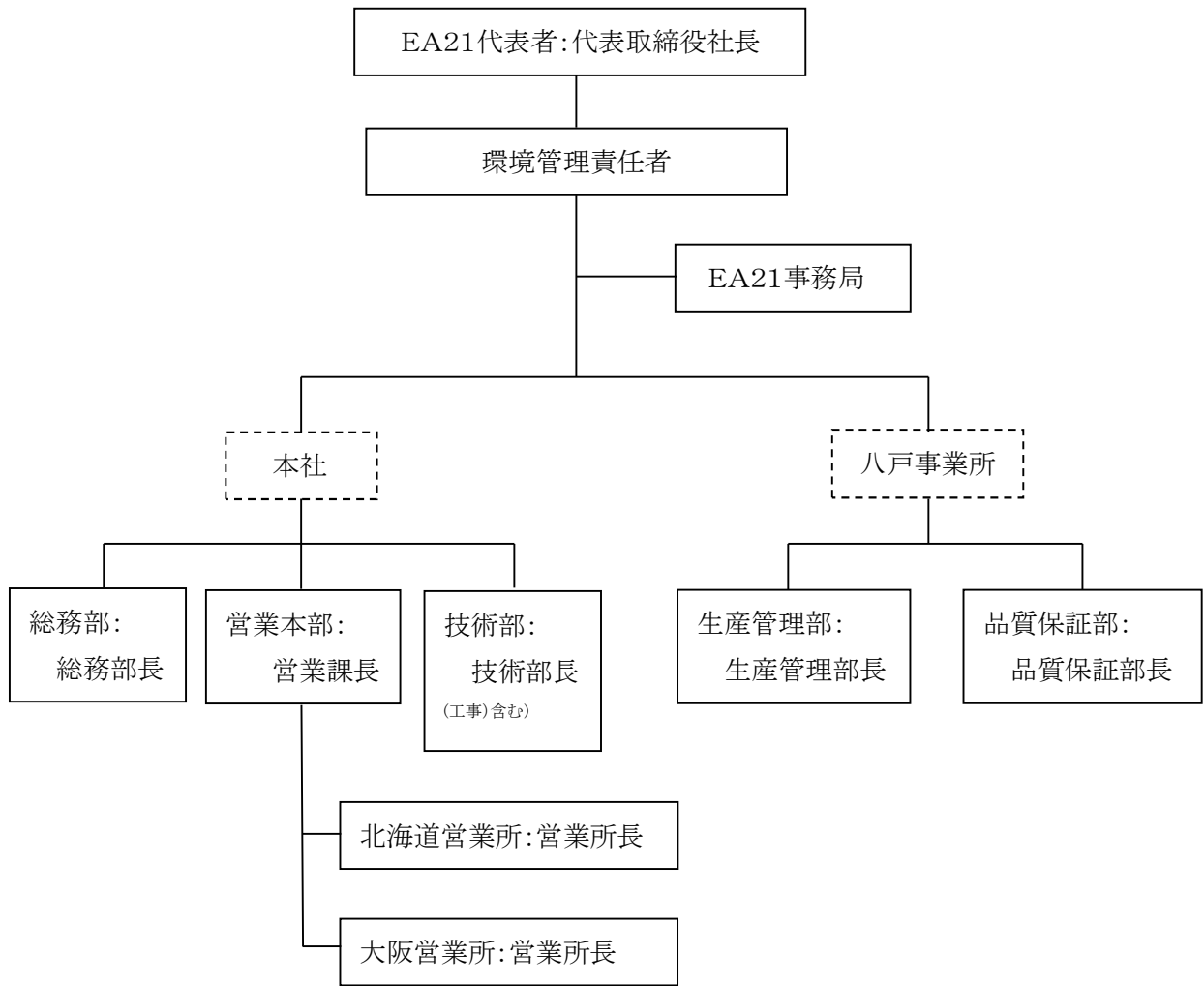
1) 対象範囲

- ・本社 〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本 3-2-3 ウェルビュ溝の口 4F
- ・八戸事業所(東北営業所含む) 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35
設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40
- ・大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アースビル 7F
- ・北海道営業所 〒060-0005 北海道札幌市中央区北 5 条西 5-2-12 住友生命札幌ビル 8F

2) 環境経営レポート 対象期間

2020 年 12 月 1 日 ~ 2021 年 11 月 30 日

3) 組織及び責任者



4) 責任と権限

組織の対象者	役割・責任・権限
社長	①環境経営方針を策定する ②環境管理責任者を任命する ③環境経営目標及び環境活動計画を承認する ④環境経営システムの運用に必要な資源を提供する ⑤環境経営システムの評価および見直しを指示する ⑥経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	①環境経営システムの構築、運用の責任と権限を有する ②運用状況全体を把握し、社長へ報告する
事務局	①環境経営システムの構築、運用に関して管理責任者を補佐する ②環境経営システムに関する記録を保持する ③外部内部からの問合せ、苦情等の窓口業務を行う
部門責任者	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関する活動を実行する ②環境管理責任者の指示事項を実行する
従業員	部門長からの指示事項について実行する

環境経営方針

環境理念

環境保全が社会共通の最重要課題の一つであることを認識し、当社の経営理念に基づき環境に配慮した商品を維持、改善するとともに環境保全に努める活動に取り組む。

基本方針

鉄道、道路関連分野での通信機器、システム等の情報連絡機器の設計、製造、販売並びに工事を事業の柱とし、以下の方針に基づいて環境経営を行う。

1. 環境負荷低減を図る為、環境経営システムを構築し、継続的改善を図ると共に環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動において適用される環境法規制を遵守する。
3. 環境負荷低減の為、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組む。
 - 1) 省エネルギー（電力、化石燃料）を推進し、二酸化炭素排出量低減を図る。
 - 2) 廃棄物発生の低減と3R（Reduce 削減、Reuse 再利用、Recycle 有効利用）を推進する。
 - 3) 資源の有効活用を推進し、水、紙の使用量低減を図る。
 - 4) 化学物質使用（シンナー）の適正管理を推進する。
 - 5) 環境負荷低減に関する改善活動を推進する。
 - ①環境配慮設計の推進
 - ②コストダウンVEの推進
 - ③グリーン購入の推進
 - ④工程内仕損の低減
4. 環境経営方針は全従業員に周知し、環境意識向上に努める。

制定：2019年12月1日

改訂：2021年12月1日

旭光通信システム株式会社
代表取締役社長 酒井 元晴

4. 環境経営目標

4.1 中期環境経営目標

*1 基準は2021年（76期）とする

取組項目		部門	2021年実績 (基準)	2022年目標	2023年目標	2024年目標	
Co2排出量削減 Kg-Co2		全体	193,790	5%減	9%減	13%減	
電力使用 量削減 Kwh	排出 係数	0.455	本社	31,491	1%減	2%減	3%減
		0.485	*2 八戸	279,734	5%減/データ取得	(10%減)	(15%減)
		-	*3 新工場	-	データ取得	データ取得/設定	設定
		0.334	大阪	2,738	1%減	2%減	3%減
		0.656	北海道	1,335	1%減	2%減	3%減
ガソリン購入量削減 ℓ		本社	9,535	1%減	2%減	3%減	
		八戸	3,898	3%減	4%減	5%減	
		大阪	1,849	1%減	2%減	3%減	
灯油購入量削減 L		八戸	1,439	2%減	4%減	6%減	
一般廃棄物削減 Kg		本社	383	2%減	4%減	5%減	
		八戸	1,030	5%減	6%減	7%減	
		*3 新工場	-	データ取得	データ取得/設定	設定	
産業廃棄物削減 Kg		本社 工事含む	3,858	2%減	4%減	6%減	
		八戸	2,814	2%減	4%減	6%減	
水使用量削減 m ³		*2 八戸	620	1%減/データ取得	2%減	3%減	
		*3 新工場	-	データ取得	データ取得/設定	設定	
OA紙購入量削減 枚		本社	102,500	2%減	4%減	6%減	
		八戸	177,500	2%減	4%減	6%減	
化学物質購入量削減 L		八戸	4	維持	50%減	50%減	
グリーン購入の推進		総務	5品目	10品目追加	5品目追加	5品目追加	
環境配慮設計の推進		技術	3件	6	7	8	
仕損の低減		生管	¥123千円	5%減	10%減	15%減	

*1 基準年を2019年、一部を2020年としていたが2021年に変更して統一する。*2 2022年（77期）新工場稼働に伴い、9月に目標値の見直しが必要となる。*3 新工場関連は1年間データ取得期間とする。

【主な施策】

(1) 二酸化炭素排出量の削減

不使用時電力削減策の徹底、エアコンの運用管理、エコドライブの啓蒙、社有車の適正使用など

(2) 廃棄物排出量の削減

仕損/工場工程内不良の削減、3R活動の推進、有価物への転換、ペーパーレス/電子化など

(3) 水使用量の削減

節水意識の喚起など

(4) 化学物質使用量の削減

トルエンレス剤への変更検討

(5) 環境改善

製品の環境配慮設計、VE活動など

5. 環境経営計画

環境経営計画の進捗確認はエコアクション21活動実施表に基づく年度計画により行う。

スローガン： 私たちは、CO₂排出ゼロを目指します

No.	取組項目	取組む内容	日程	責任者
1	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの運用管理 ・照明は不使用時/場所の消灯 ・OA 機器の省電力設定 ・クールビズ、ウォームビズの展開 	月度管理(エコアクション21活動実施表による)	本社:総務部長 八戸:事業所長 大阪、北海道: 営業所長
2	ガソリン購入量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの啓蒙 ・社有車の適正使用 		本社:営業部長 八戸:事業所長 大阪:営業象徴
3	灯油購入量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・温度管理 ・暖房機器の適正使用 		本社:総務部長 八戸:事業所長
4	一般廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別(リサイクル)の推進 		本社:総務部長 八戸:事業所長
5	産業廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・3Rの推進 ・処理業者での分別推進 		本社:総務部長 八戸:事業所長
6	水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の啓蒙 		総務部長
7	OA 紙購入量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ミスコピー防止啓蒙 ・社内文書のペーパーレス化の推進 ・電子化の推進 		総務部長
8	化学物質購入量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・購入量の見直し ・代替品の検討 		生産管理部長
9	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・文房具/生活用品のグリーン購入推進 		総務部長
10	環境配慮設計の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小型化製品の設計 ・軽量化製品の設計 ・リサイクル部品を使用した製品設計 ・省電力製品の設計 		技術部長
11	仕損の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・仕損不良削減策の実施 		生産管理部長

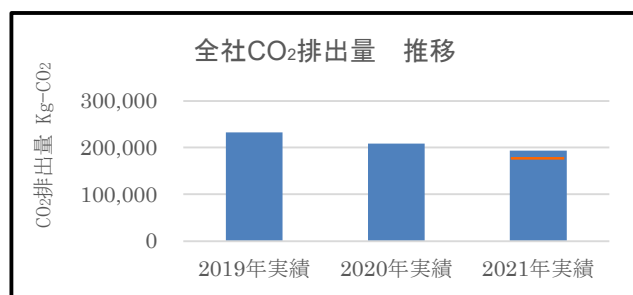
6. 環境活動実績及び評価

達成率での評価。評価:100%以上“○”、99~80%“△”、80%未満“×”

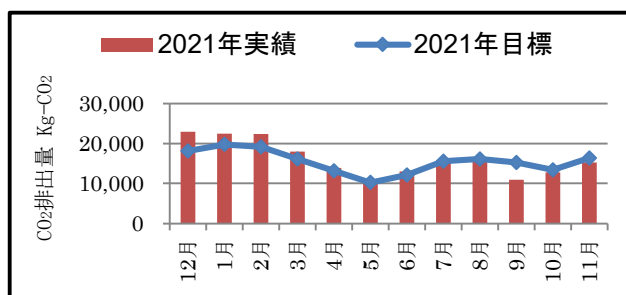
取組項目		部門	2019年 実績(基準)	2021年 目標	2021年 実績	達成率%	評価	
CO ₂ 排出量削減 Kg-CO ₂		全体	232,538	185,288	193,790	96	△	
電力使用量削減 Kwh	排出係数	0.455	本社	36,943	32,140	31,491	102	○
		0.508/0.485	八戸	343,126	257,345	279,734	92	△
		0.334	大阪	3,593	3,557	2,738	130	○
		0.656	北海道	1,332	1,319	1,335	99	△
ガソリン購入量削減 ℓ		本社	6,859	9,602	9,535	101	○	
		八戸	5,406	4,325	3,898	111	○	
		大阪	2,771	1,940	1,849	105	○	
灯油購入量削減 L		八戸	1,915	1,819	1,439	126	○	
一般廃棄物削減 Kg		本社	381	370	383	97	△	
		八戸	1,185	1,150	1,030	112	○	
産業廃棄物削減 Kg 136.5		本社 工事含む	10,394	6,444	3,858	167	○	
		八戸	5,890	4,653	2,814	165	○	
水使用量削減 m ³		八戸	597	591	620	95	△	
OA 紙購入量削減 枚		本社	102,000	121,215	102,500	108	○	
		八戸	249,500	187,500	177,500	105	○	
化学物質購入量削減 L		八戸	16	8	4	200	○	
グリーン購入の推進		総務	28 品目	15 品目	5	33	×	
環境配慮設計の推進		技術	-	5 件	3 件	60	×	
仕損の低減		生管	187 千円	169 千円	123 千円	131	○	

6.1 全社二酸化炭素排出量 — : 目標ライン

【年度別推移】



【2021年 実績推移】



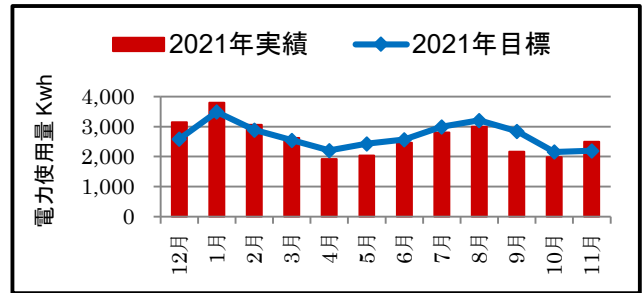
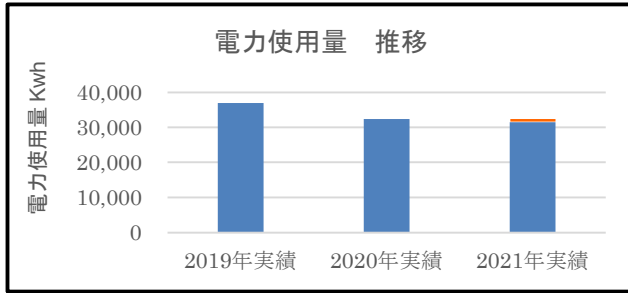
【評価】

全社の CO₂排出量は目標を 2019 年基準年に対して 22%減として活動したが、2020 年 12 月～2021 年 5 月までの活動で、外部環境の変化から本社のガソリン目標値を上方修正した結果、全体の目標達成率は 96%で目標未達成となりました。項目別 CO₂排出量の比率は電力が 80%、ガソリンが 18%、灯油が 2%となっています。拠点別では、本社が 19%、八戸は 78%、大阪は 2.5%、北海道は 0.5%でした。

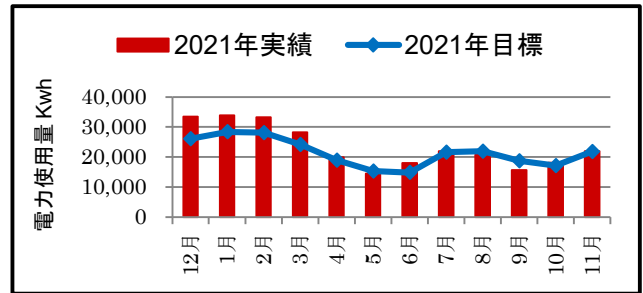
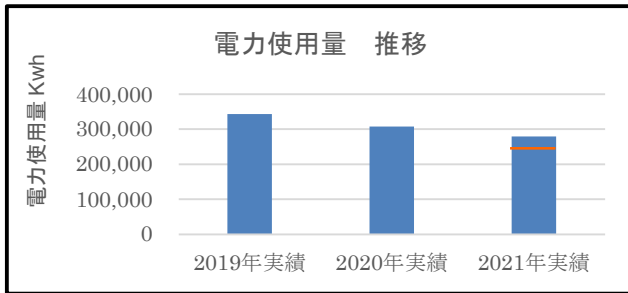
主な活動は、排出量の約 80%を占める電力削減は八戸事業所において 4 月から CO₂排出係数のより小さい電力会社への切替え、6 月導入となったエコカーへの切替えを行いました。しかし、エアコンの更新は老朽化による故障対応としていた為、計画的に進めることができませんでした。

6.2 電力使用量 — : 目標ライン

【本社】

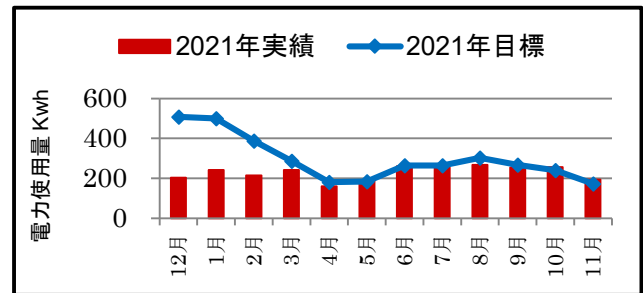
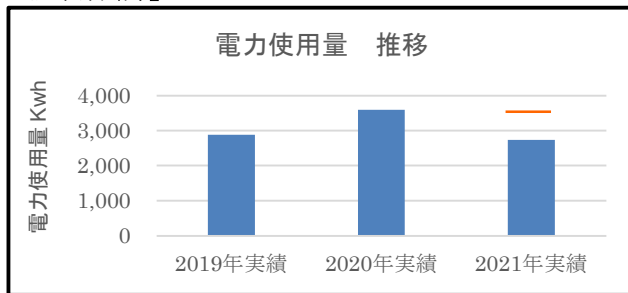


【八戸】



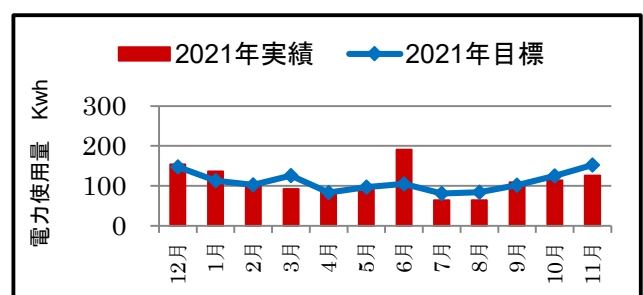
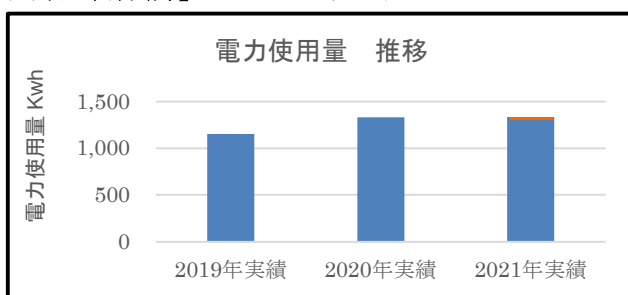
【大阪営業所】

2020年基準



【北海道営業所】

2020年基準



【評価】

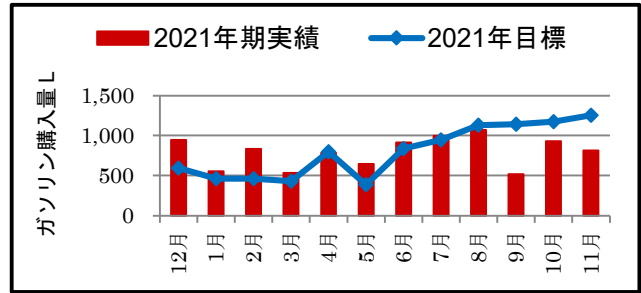
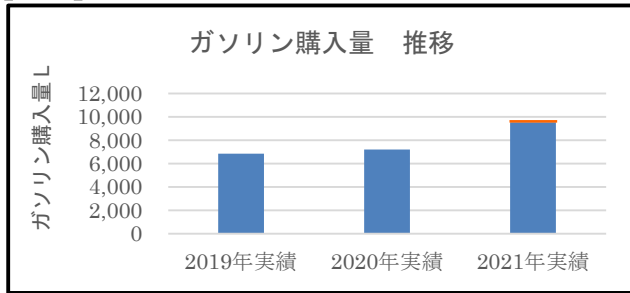
本社は目標を2019年基準に対して13%減、八戸は25%減、大阪営業所と北海道営業所は2020年基準に対して1%減を目標に活動した結果、達成率は本社102%、八戸92%、大阪営業所130%、北海道営業所99%となりました。電力使用量の約90%を占める八戸では前年実施の照明のLED化による効果がありますが、故障交換を想定していたエアコンは実績がなく、削減率は18%に留まりました。

大阪営業所は2020年実績を基準として目標設定しましたが、基準年の12月～2月の電力消費において特異事象があった為、2021年実績との乖離がありました。

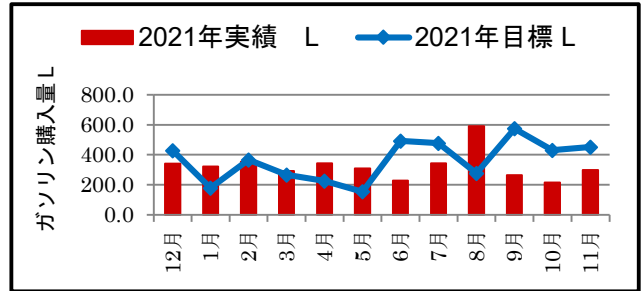
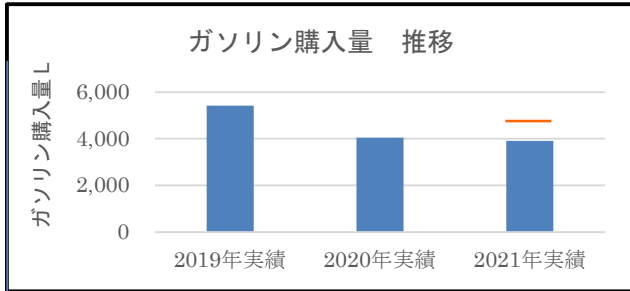
本社、大阪営業所及び北海道営業所は、照明器具などの変更ができない中で、照明の不使用消灯や窓の開閉などの取組みの効果がありませんでした。

6.3 ガソリン購入量 — : 目標ライン

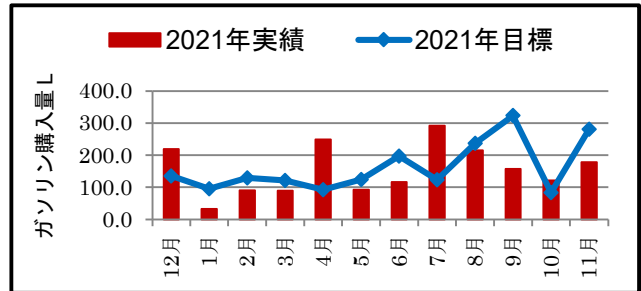
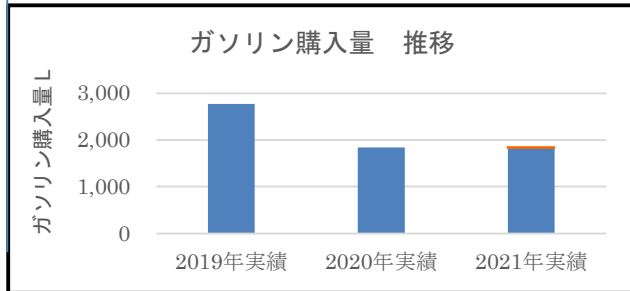
【本社】



【八戸】



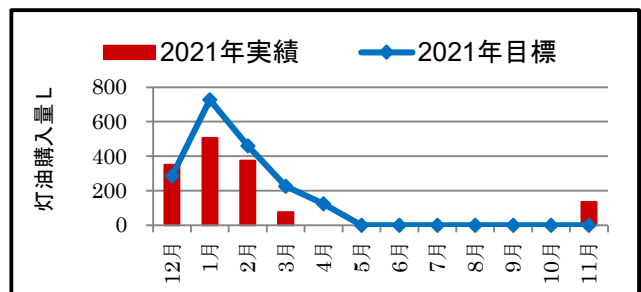
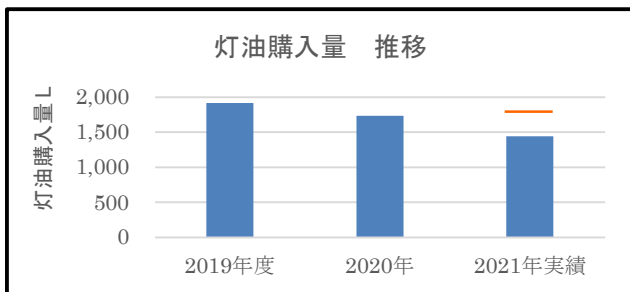
【大阪営業所】



【評価】

本社は目標を2019年基準に対して1%減、八戸はエコカーへの変更を計画し20%減、大阪営業所もエコカー使用による効果を期待し30%減として活動しました。2020年12月～2021年5月までの活動で、外部環境の変化から本社のガソリンの目標値を上方修正(基準年の40%増)した結果、達成率は本社101%、八戸111%、大阪営業所105%と全拠点で目標達成となりました。大阪、八戸はエコカーの効果が出ています。

6.4 灯油購入量 — : 目標ライン



【評価】

2019年基準に対して5%減として活動し、達成率は135%となりました。暖房設備に使用している為、気候にも左右されますが、昨年、省エネタイプの暖房設備への変更の効果が継続しています。

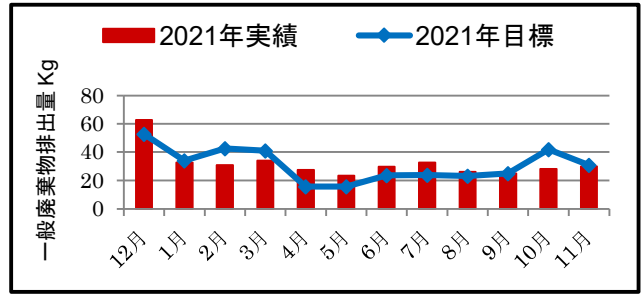
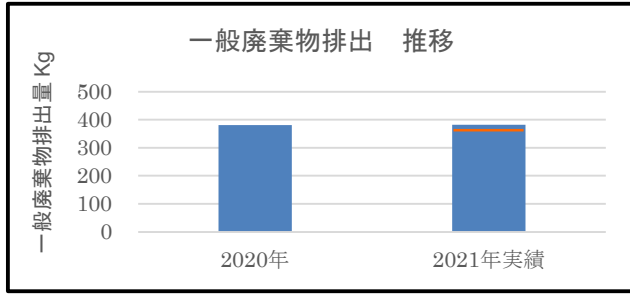
6.5 廃棄物排出量

6.5.1 一般廃棄物

— : 目標ライン

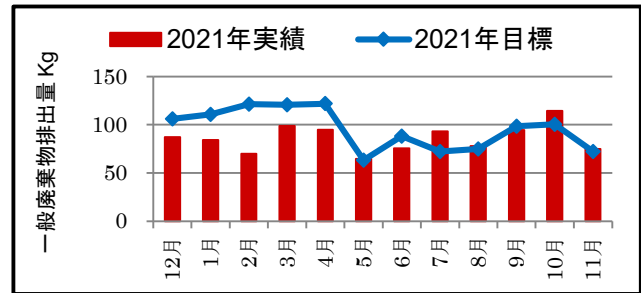
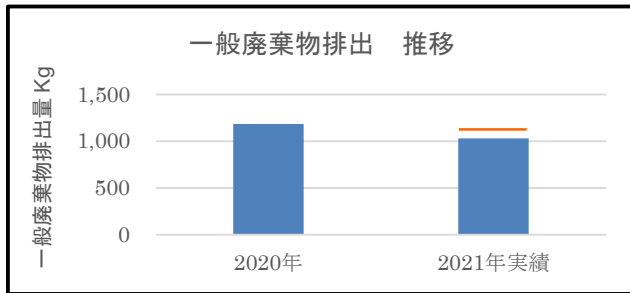
【本社】

2020年基準



【八戸】

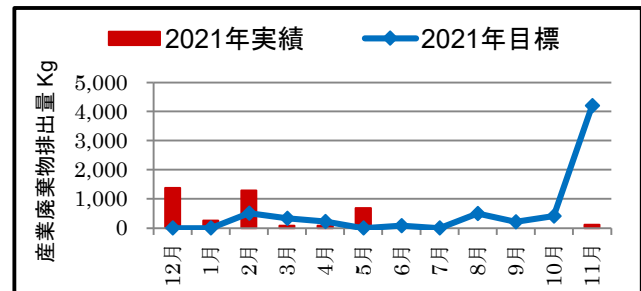
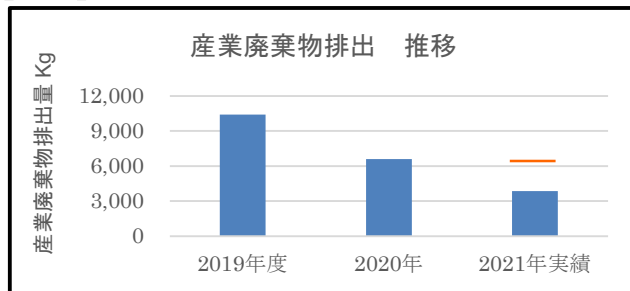
2020年基準



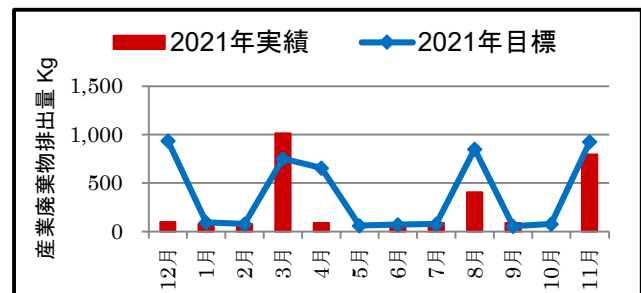
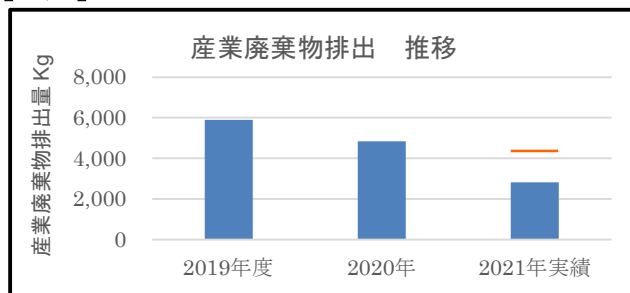
6.5.2 産業廃棄物

— : 目標ライン

【本社】



【八戸】



【評価】

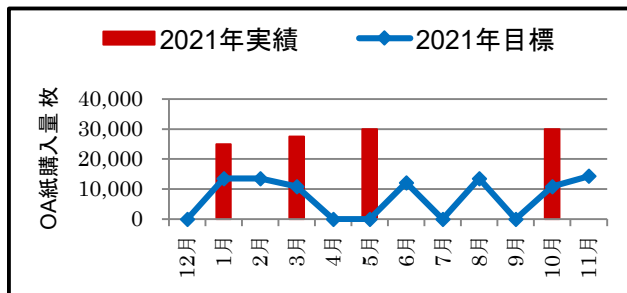
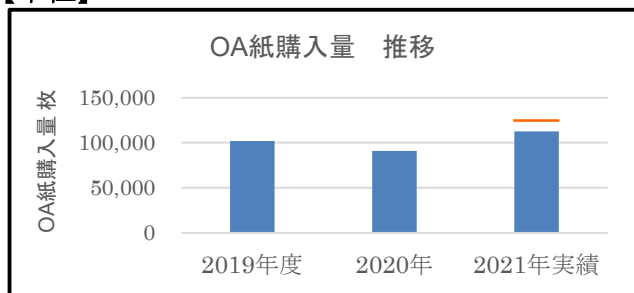
一般廃棄物排出は、本社、八戸とも目標を2020年基準に対して3%減として活動し、目標達成率は本社が97%の未達成、八戸は112%の達成となりました。本社ではテレワークの縮小に伴う増加がありますが、5月からマイ箸運動を展開し、割りばし購入を停止しました。八戸は分別推進の成果がでています。

産業廃棄物排出は、本社は目標を2019年基準に対して38%減、八戸は20%減として活動した結果、達成率は本社が167%、八戸は165%の達成となりました。本社の排出内訳は事務所が60%、工事は顧客からの製品の回収依頼が40%となりました。事務所の排出は、事務所レイアウト変更によるものや商材サンプルの排出があり、突発的なものがありました。取組みとしては、本社では回収業者による分別、八戸は廃棄としていた廃実装基板などを有価物として転換しました。

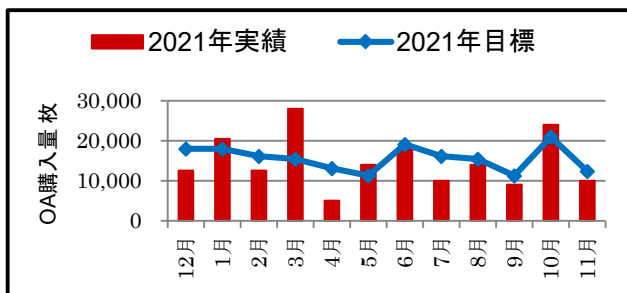
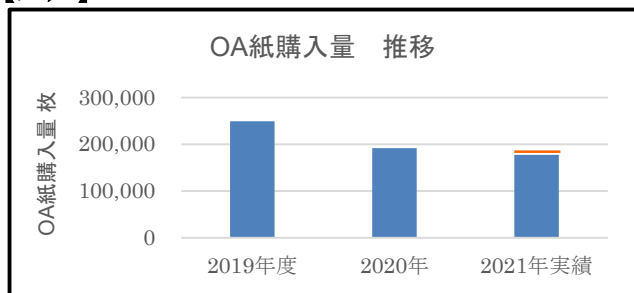
6.6 省資源

6.6.1 OA紙購入量 — : 目標ライン

【本社】



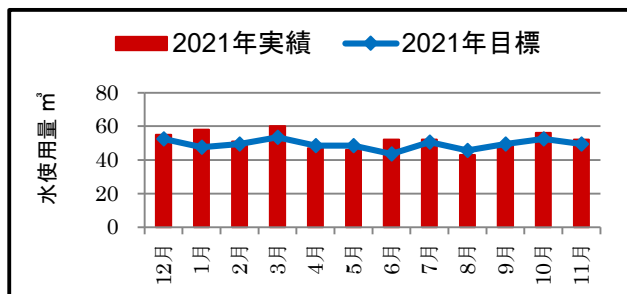
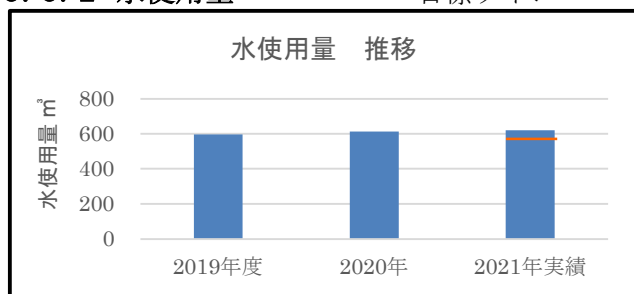
【八戸】



【評価】

OA紙購入量削減は本社が目標を2019年基準に対して13%減、八戸は25%減として活動をスタートしましたが、本社において上期に特定案件の提出書類での大量使用があったことから6月以降の目標値を上方修正(基準年の19%増)した結果、目標達成率は本社が108%、八戸は105%の達成となりました。取組としては本社では、購入依頼書のペーパーレス化を実施しました。八戸は昨年に引き続き、設計における検図/承認作業でのペーパーレス化、紙製本をCD媒体提出へ変更、検査成績書のPDF提出などがあります。

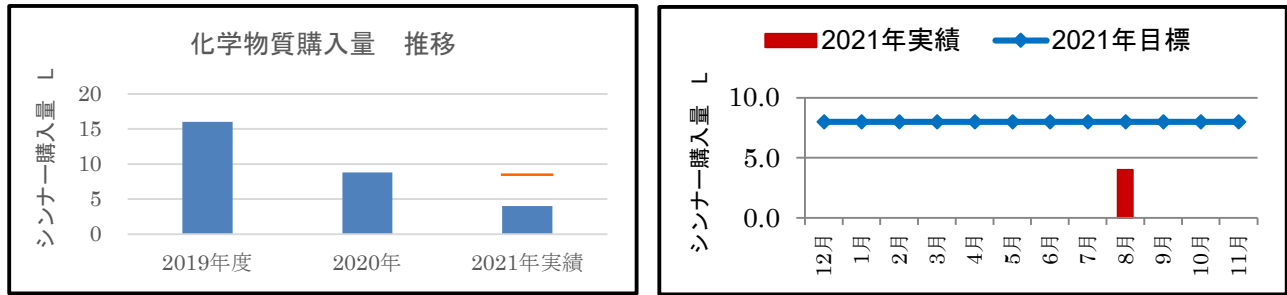
6.6.2 水使用量 — : 目標ライン



【評価】

水購入量削減は目標を2019年基準に対して1%減として活動した結果、目標達成率は95%となりました。水の使用は生活用水と製品検査での防水試験がありますが、水使用に対する比率を試算したところ生活用水での使用が多いということが判明しました。

6.7 化学物質購入量 — : 目標ライン



【評価】

化学物質購入削減として目標を基準年に対して50%減の8Lとして活動しました。当社での化学物質の対象は洗浄用シンナーに含まれるトルエンがあります。シンナーを使用する用途を減らしたことにより、購入実績は4Lとなり、目標達成率は200%の達成となりました。

6.8 各部門の環境改善実績

評価: 100%以上“○”、99~80%“△”、80%未満“×”

No.	取組項目	部門	年度目標	年度実績(12~11月)		評価
			数値	数値	達成率%	
1	グリーン購入の推進	総務部	新規 15 品目以上/年	5 品目	33	×
2	環境配慮設計	技術部	5 件以上/年	3 件	60	×
3	仕損の低減	生産管理部	169 千円以下/年	123 千円	131	○

【評価】

グリーン購入の推進は目標を年間新規追加 15 品目以上として活動しましたが、5 品目の追加となり達成率 33%となりました。

技術部の環境配慮設計の取組みは、年間提案 5 件以上を目標として活動しましたが、3 件の起票で達成率 60%となりました。

生産管理部の仕損の低減は目標を年間 169 千円として活動し、仕損費 123 千円の実績で達成率 131%となりました。

6.9 その他の環境関連活動

環境関連活動として八戸においては朝の清掃活動、旭光農園での野菜栽培(農園フェス)を引き続き行いました。また、例年実施されています地域の清掃活動は、今年も新型コロナの影響により中止となりました。

【清掃活動】



【農園フェス】



7. 環境経営活動の取組み総括と今後の取組み

7.1 取組の総括

2021年(76期)は、活動スローガン「私たちはCO₂排出ゼロを目指します」を掲げ、環境経営目標及び計画について、従業員に対する教育と行動の啓蒙活動を行ってきました。環境負荷測定に関する活動計画の取組み内容は概ね実施されていました。12月～5月までの活動結果から本社のガソリン購入量及びOA紙購入量の目標値の見直しを6月に行いました。

取組みのトピックスとして、八戸事業所においては4月からCO₂排出係数のより小さい電力会社への変更、6月に社有車のエコカーへの切り換えがあります。その他、省エネの取組みとしては、建設計画中の新工場においては省電力設備を盛り込みました。産業廃棄物関連では、従来、廃棄としていた廃実装基板などを有価物に転換しました。

本社においては、産業廃棄物に対する再資源化として処理業者による分別を実施しました。また、環境負荷低減に関する改善活動として技術部では環境配慮設計の推進、総務部ではグリーン購入の推進を計画していましたが、部内での活動の啓蒙や周知不足からの活動の停滞がありました。

7.2 今後の目標及び取組内容

今後の取組みとして、2022年に稼働する八戸事業所第二工場は、電力量、一般廃棄物排出、水使用量を管理項目として6月以降データの取得を行っていきます。それに伴う八戸事業所の目標値の見直しも行います。全体的な目標値は2021年度の達成度合いを考慮して設定し直します。

環境負荷測定に関する取組みとしては、全社の二酸化炭素排出量の78%を占める八戸事業所の電力削減として、低減活動の徹底を検討して進めます。

また、各部門の環境改善は総務部においては、引き続きグリーン調達を推進するとともに日常業務とする仕組み作りの検討を考慮していきます。技術部の環境配慮設計は「メーカーとしての環境配慮設計」を意識した提案を部内に周知し、使用部品の検討も含めてより環境に配慮した環境提案に繋げていきます。ものづくりにおいては、VE活動を新たに検討していきます。

8. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果

8.1 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果

当社に該当する13法令に対する訴訟、関係当局からの違反などの指摘はありませんでした。また、13法令に関して遵守状況を確認した結果、法令に抵触する事項はありませんでした。また、2021年2月、5月、8月、11月に環境関連法規制に関する最新版の確認を行った結果、9法令の改訂がありました。当社が事業活動へ影響を及ぼす改訂はありませんでした。

環境関連法規制に関する主な実施状況は以下の通りです。

【本社】

- ① 消防法に基づく点検:防火対象物点検 2021年2月
- ② 避難訓練(緊急事態対応):2021年5月の避難訓練は中止となりましたが、従業員に対しては、避難通路図、消火訓練マニュアル、119番通報メモの周知を行いました。11月に消防訓練として実施し、緊急事態対応は問題ありませんでした。

【八戸】

- ① 浄化槽法に基づく点検
 - ・保守点検:2020年12月、2021年3月、6月9月に実施し、2020年12月、2021年9月に曝気ブローアの異常が報告され更新を行いました。
 - ・第11条検査:2021年1月に八戸事業所、12月に設計棟を実施し問題はありませんでした。

② フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づく点検

・エアコンの簡易点検を2020年12月、2021年3月、6月、9月、11月実施し問題はありませんでした。

③ 消防法に基づく点検

・消化設備保守点検:2021年5月、11月に実施し問題はありませんでした。

11月は計画にありませんでしたが、保守点検業者に変更があり実施いたしました。

④ 緊急事態対応

・避難訓練:2021年9月に実施し、緊急事態対応は問題ありませんでした。

・浄化槽及び灯油タンク:2021年9月に実施し、緊急事態対応は問題ありませんでした。

【大阪】

① 消防法に基づく点検:自動火災報知機及び排煙設備点検:2021年11月に実施し問題はありませんでした。

【北海道】

① 消防法に基づく点検:自動火災報知機及び排煙設備点検:2021年3月に実施し問題はありませんでした。

② 防火管理点検:2021年1月に実施し問題はありませんでした。

8.2 外部コミュニケーションの結果

対象期間中、苦情はありませんでした。

9. 経営者による評価及び見直し

2021年(76期)環境経営目標の達成状況としては、概ね活動の結果が出ていると判断しました。全社のCO₂排出量の約80%を占める八戸事業所の電力は、より排出係数の小さい供給会社への変更やエコカー導入など、今後CO₂排出削減の効果が出てくるものと考えます。

環境方針は、現在の事業環境との整合性がとれていない項目がある為、整合性を取ります。また、2019年を基準年としていた全体的な目標値は、事業を取り巻く環境の変化から、2021年を基準とした再設定や2022年5月の第二工場稼働に関連しての見直しを行っていきます。

環境活動は活動スローガン「私たちは、CO₂排出ゼロを目指します」のもと展開しており、全社のCO₂は年々減少傾向にあります。環境経営計画の実施においては、活動主体の八戸事業所はもとより全社・全員参加のもとで意識を高め、実効性のある活動を行っていきます。